

令和元年度

上小PTA連合会研究集会レポート

第6分科会

テーマ

PTAの文化祭への関わり方について
～第一中学校PTAコーラスの取り組み～

期 日	令和元年	8月31日(土)
会 場	東御市立東部中学校	
助言者	吉澤 基先生	滋野小学校
司会者	大石 唯雄	第一中学校PTA
発表者	湯淺 博文	第一中学校PTA
記録者	深井 千恵	第一中学校PTA
記録者	内山 茂隆	第一中学校
世話係	久保田 聡先生	第六中学校

第一中学校PTA

【学校紹介】



本校は昭和22年4月開校、本年度は創立73年を迎えます。開校当時は南小学校に併設されましたが、昭和23年に上田市神川村組合立上田第一中学校として旧上田商工学校に移転（現上田市健康プラザ）、平成11年4月に現在の国分寺上に移転し、現在に至ります。

学校教育目標「体力・気力・知力を兼ね備えた人間性豊かな生徒の育成」を受け、明日も来たくなる一中を目指し、生活の重点「場を清め、礼を正し、時を守る」を具現化するために気持ちのよい挨拶、本気で取り組む清掃、時間厳守の三つの柱を大切に、日々、教育活動を行っています。

1 一中文化祭（松輝祭）へのPTA参画

本校のPTA組織は、PTA会員相互・PTA役員並びに会員と教職員との親睦を図り、学校理解・子ども理解・家族のあり方といったことを共に学び合い、その成果を分かち合い、共に子育てを楽しむことを運営方針としています。組織の中心になる本部を中心に、生活指導委員会、厚生委員会、学年部、施設委員会、教養委員会、支部長会、子育て委員会から構成され、それぞれ活動を進めています。また、毎年文化祭に行われる各クラス参加の合唱コンクールにも、【PTAコーラス】としてPTAも参加しております。

PTAコーラスの参加の始まりは、平成16年。当時の女性副会長が、生徒の皆さんのコーラスを聞いていて、PTAとしても、大人の歌声を、生徒の皆さんに聞いてもらおうと発案し、当時の校長先生が賛同して始まりました。

以来、毎年文化祭で発表の時間をいただき、昨年までに15年間活動を続けてきました。今年度の発表も、9月28日（土）に予定されております。

2 「PTAコーラスの活動」について

(1) 実践の内容

参加者は、主に常任委員、代議員、教職員、一般会員で構成されます。

毎年、6月下旬に三役が講師の先生に、コーラスの指導のお願いに伺います。

講師の先生は、当校の卒業生の父兄でもある中村由美子先生（上田いずみ合唱団や女性合唱団コール・ドゥ・クラージュなどを指導されている指揮者）にお願いし、快く引き受けて頂いております。

練習は、先生の都合を伺い、当校の音楽室を使用。男性パート、女性パートに分かれ、5回の練習を行い、本番に臨みます。

(2) 過去の取り組み（曲目）

平成16年度 People Of The World 乾杯

平成17年度 栄光の架け橋

平成18年度 さくら

平成19年度 宙船

平成20年度 Jupiter

平成21年度 キセキ

平成22年度 銀の龍の背に乗って
 平成23年度 道 Happy Birthday
 平成24年度 証
 平成25年度 果てない空
 平成26年度 銀河鉄道999
 平成27年度 麦の歌
 平成28年度 手紙
 平成29年度 中島みゆきメドレー
 平成30年度 ドレミの歌
 (一部、英語バージョン)



【30年度 PTAコーラス 本番直前】

(3) 昨年度の活動の様子

平成29年度の中島みゆきメドレーでは、「複数の難しい曲を唄えるようになってはいけなかったことがとても大変であった」という反省が多数寄せられたため、「簡単な曲にして下さい!」とお願いして、昨年はスタートしました。

「『ドレミの歌』にしたいと思います。」と中村先生が示して下さいました楽譜には、日本語の歌詞の他に英語の歌詞が表記されていて、少し戸惑いました。

「心配しないで・・・、日本語の歌だけでいくから、簡単なはずよ・・・」

毎回の練習は体ほぐしのあと、正しい声の出し方を立ち方の指導から丁寧に教えていただく発声指導から始まります。先生にとってはアップ程度の発声練習が私たちにとってはつらい、つらい発声練習でした。いざ、「ドレミの歌」の練習が始まると



【しっかり伸びて いい声出すわよ】



【 美しい声は美しい姿勢から 】



【 はい! 男性パート しっかり音とって 】

「とってもよくなってきたから、英語の歌詞も少し入れてみましょう!」と先生の一声で、どんどん難しい曲・・・、唄い甲斐のある楽曲になっていきました。「簡単な歌でお願いします・・・」のはずだったのに、先生の気持ちの盛り上がり、PTAも必死についていきましたが4回の練習では・・・。やはり回数が少ないので、とても自信を持って歌うところまではたどり着けないのが現実でした。それでも、子どもたちの前で歌うのですから、あまりみっともないのも困

るので・・・とにかく、みんなで頑張って練習しました。

最後の5回目の本番前日練習、ステージの上での練習となります。



【 明日は本番です 笑顔で頑張ります 】

通し練習を繰り返しながら、ポイントをご指導いただき「さあ、これが最後。本番のつもりでいきましょう！」と中村先生の指揮に、PTAコーラス隊もその気にさせていただきました。

松輝祭の合唱コンクールでは、毎年生徒のすばらしい合唱が響き渡ります。緊張感の中、入賞を目指し本気になって取り組む生徒たちの気持ちを少しでも味わうことができ、PTAコーラスは毎年心地よい満足感と達成感で満たされます。

3 活動の課題とこれからのPTAコーラス活動の文化祭参加のあり方

(1) 参加者集めの難しさ

毎年、7月上旬に、PTA会長、女性副会長の連名でコーラス参加者募集のお知らせを、学校を通じてPTA会員に配布していただき、参加者を募ります。

夏休み前に、募集を締め切り、夏休み後から、練習を5回行い、本番となります。代議員の方には出来る限りの参加をお願いしています。また、生徒の皆さんがプリントを紛失したり、会員に渡し忘れていたりする事案もあり、昨年度は、学校で使用しているメールでも募集をお願いしました。

代議員の方々は、女性が多く、男性が少なくどうしても、アンバランスになります。役員も個々に声掛けをしていますが、なかなか集まりません。

(2) 学校における働き方改革との兼ね合い（教職員の働き方改革）

練習の時間が19:15～20:45と限られた時間、回数となり、保護者は、ある程度、時間の調整は出来ますが、先生方は、朝からの授業、放課後は部活指導等もあり、参加していただける先生は多くいません。

今の時代、会社員でも、働き方改革と問題となっておりますが、教職員の働き方改革は、もっと深刻な問題となっております。（当校では、男性の先生が参加していただくと、コーラスのバランスがある程度とれます。）

(3) これからの方向性

限られた時間、回数の中での練習をして、文化祭で発表しています。

PTAコーラスが、15年以上も続けてこられたのは、各年度の役員の皆さん、教職員の皆さんの協力のおかげです。発表する以上は、ある程度しっかりとした歌声を、生徒の皆さんに披露したいという参加者の思いがあるからです。

保護者のみで、先生方の参加者がいないと、PTAの〔T〕がなくなり、PTA活動として成り立ちません。先生方や練習参加が難しい保護者でも、少ない回数で歌える歌、楽しく練習できる、曲選びも今後は重要になると思います。

あわせて、アンケート等で参加者や聞いてくださった生徒たちの声などを大切にしながら、選曲だけでなく参加募集方法等の検討も必要だと感じています。